



2026.6.27(土)



メタバースとよたで開催



56人が参加！

参加者からの嬉しいコメント

自分の好きなアバターの姿で
安心して参加できた！
また参加したい！

豊田市のLGBTQ+の取組を
知ることができてよかった！

メタバースとよたって？

アバターを使って、交流やイベントを楽しめる
■田市のバーチャル空間です！メタバースなら
ではの出会いやつながりを体験してみませんか？

イベントと一緒に作り上げてくれた…
Team.S@とよた（豊田市の市民活動団体）

LGBTQ+、SOGI、セクシュアリティにかかわら
ず多様な生き方のできる豊田市を目指し、講演
会や交流会等を実施しています

ある日の相談室

市相談内容がより一歩前進したものです

今月の相談

母と私の子育て方

県外に住んでいる母は、私の子育てに
ついていろいろ口出しをしてくる。

育ち盛りの子どもの栄養を考えて総菜は買うとか、病気の時は仕事を休んで看病しろといひます。そうしたい気持ちもありますが、フルタイムで働いており、大事な仕事も任されているので、自分の都合で急に休むことが現実的には難しいです。子どもが病気の時は、夫婦で相談して、都合のつく方が在宅で仕事をこなしています。母には子育ての先輩としていろいろ相談に乗ってもらっていますが、私が間違っているのでしょうか。

相談員より

フルタイムで仕事をしていて、家事や子育てを夫と
分担して頑張っているのですね。今は、様々な選択肢
のある中で、迷いを感じることも多いと思います。

でも、毎日子どもと一緒にいて、子どもの様子を見
ながら判断しているご両親の目が一番大事です。



あなたのお母さんの心配もわかり
ますが、世の中は女性が仕事をする
状況に対応し、変化してきていま
す。自分を信じて、あなたらしい子
育てを見つけてください。

女性のための電話相談室「クローバーコール」

クローバー

(0565)33-9680

火・木～土曜日 AM10:00～PM4:00

水曜日 AM10:00～PM1:00 PM4:00～7:00

男性のための電話相談室「メンズコールとよた」

(0565)37-0034

毎月 第2・第4金曜日 PM6:00～8:00

編集・発行



〒471-0034

豊田市小坂本町1-25

（豊田産業文化センター2階）

・TEL: (0565)31-7780

・FAX: (0565)31-3270

・E-mail: clover@city.toyota.aichi.jp

・HP: https://clover-toyota.jp/

開館時間

火曜日～土曜日 AM9:00～PM9:00

日曜日はPM5:00まで 月曜日休館



【アクセス】名鉄豊田市駅から徒歩8分
愛知環状鉄道新豊田駅から徒歩3分

Clover

No. 52

Autumn 2026

豊田市ジェンダー平等推進センター情報誌「クローバー」

特集

アンコンシャスバイアスとは？

「無意識の思い込み」のことで誰にでもありうるものです

アンコンシャスバイアスへの気づき



男性は仕事優先？



若い人はデジタルに強い？



私には無理？



思い込みは他人だけで
なく『自分』に対する
ものもあります

気づかないでいると
自分や相手の可能性を
狭めてしまう場合も



気づきが社会を変える



子育て中だけど意識も高いし
能力もあるし責任ある仕事も
任せてみよう



私もまだまだ挑戦して
みようかな！！

1人ひとりが
自分らしく活躍できる
社会に



72歳で夢を叶えたパティシエ“スイーツ絵美子”さん



さんかくフェスタ2026を開催します！



LGBTQ+メタバース交流会を開催しました！



母と私の子育て方針

【表紙】アンコンシャスバイアスとは？（イラスト：勝川英里子さん）

Cloverとは？

クローバーの葉を一人ひとりの
生き方を尊重した道しるべとして

表現することで広く親しんでいただけるよう
情報誌の通称を「クローバー」と名付けています

編集後記

「そんなつもりはなかった」という場面ほど、アンコンシャスバイアスが隠れているのかもしれない。
今回の記事が、日常の何気ない思い込みに目を向けるきっかけになればうれしいです。

アンコンシャスバイアスに気づこう！

「そんなつもりじゃなかったのに…」誰かとの会話や日常の中で、そんな経験はありませんか？その背景には、自分でも気づいていない「思い込み」が隠れているかもしれません。その思い込みのことを「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）」といいます。実は、これは特別なものでなく、誰もが持っているものです。自分ではなかなか気づきにくい「アンコンシャスバイアス」について、一緒に考えてみましょう。

例えばこんなことはありませんか…？

▶家庭では…

- ・家事や育児は女性中心に行うもの
- ・一家の大黒柱と言えば父親を想像する
- ・介護は嫁や娘がするもの

▶子育てでは…

- ・一人っ子はかわいそうだと思う
- ・長男、長女だからしっかりしてるはず
- ・男の子は強くたくましく、女の子はかわいくおしとやかに

▶職場では…

- ・男性だから残業や休日対応ができるはず
- ・定時で帰る人は仕事への熱意が低い
- ・受付やお茶出しは女性の仕事

▶地域では…

- ・自治会長は男性が向いている
- ・若い人は地域活動に関心がない
- ・外国人だから日本語が苦手だと判断する



令和8年7月4日（土）開催『“ふつう”って誰のもの？アンコンシャスバイアスと多様性～“あたりまえ”を見直そう～』で講師を務めていただいた、**押村 由紀恵さん**にアンコンシャスバイアスへの理解を深めるポイントを解説していただきました。

▶気づくことから始めよう

「普通って、何だろう？」

私たちは日頃、「普通はこうだね」「普通は～だから」と口にすることがあります。でも、その「普通」は誰にとっても普通なのでしょうか。アンコンシャスバイアスとは「無意識に“こうだ”と思い込むこと」を指し、日本語では「無意識の思い込み」等とも表現されます。そしてその対象は、人物物事だけでなく、「自分」に対するものもあります。

例えば、「男性は仕事を優先するもの」「若い人はデジタルに強い」「私には無理」「もう年だから」など、あなたの中にも、知らないうちにそうした無意識の思い込みがあるかもしれません。アンコンシャスバイアスは、経験や見聞きしたことなどによって形成されます。それは誰にでもありうるもので、完全になくすことはできません。だからこそ大切なのは、「自分にもあるかもしれない」と気づこうとすることです。アンコンシャスバイアスは、自分や相手の可能性を狭めてしまうことがあるからです。

▶アンコンシャスバイアスへの気づきが社会を変える

もし一人ひとりがアンコンシャスバイアスに気づき、向き合うことができれば、私たちの社会はどのように変わるでしょうか。

例えば職場では、「子育て中だから責任ある仕事を任せるのは難しいだろう」「年齢が高い人は、新しいことは苦手だろう」といった、自分のアンコンシャスバイアスに気づくかもしれません。そうすれば、一人ひとりの意思や能力を踏まえた判断につながるでしょう。また、自分自身に向けられた「私には無理」という思い込みに気づくことで、新しい一歩を踏み出す勇気がわくかもしれません。

アンコンシャスバイアスに気づくことは、**相手だけでなく、自分自身の可能性を広げることにもつながります。**

その積み重ねが、一人ひとりが自分らしく活躍できる社会をつくるのです。まずはあなたが「普通は～」と思ったときに、一度立ち止まってみませんか。

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所認定トレーナー。大手証券会社入社。内勤営業業務・チームリーダー職と並行して、若手社員育成の研修企画・運営に従事。退職後、人材派遣会社において研修トレーナーとして実績を積み。キャリアとコミュニケーションを軸に研修を展開。官公庁、企業、大学にて活動中。



押村 由紀恵 さん

72歳で夢を叶えたパティシエ“スイーツ絵美子”さん

パン・お菓子教室を28年間続けた後、長年の夢だったお菓子の販売を72歳からスタートした“スイーツ絵美子”さん。お客様との交流を大切に、ひとつひとつ心を込めてお菓子をつくっています。今回は夢を実現した背景ややりがいについてお話を伺いました。

—お菓子教室の先生をやめて、販売を始めたきっかけはなんですか？

もともと母の影響で、料理やお菓子作りが大好きでした。結婚を機に豊田市へ来てから、パン教室に通い始めました。10年ほどたった頃に自分のパン・お菓子教室を開いて、28年間続けてきました。



販売を始めたきっかけは、娘夫婦が「好きなように作っていいよ」って自宅に厨房を作ってくれたことですね。お菓子の販売は、ずっとやってみたいと思っていました。昔、バザーでお菓子売ったことがあって、それが想像以上に売れてね。そのうれしさがずっと心に残っていたんです。

だから厨房ができて、できる範囲の販売ができればいいかなって思っただけです。やっぱり売れるとすごくうれしいし、美味しかったって言われるとまた頑張りたい。もともと何でも楽しみながらやる性格なので、毎日楽しく続けてます。

—お客さんとの関わりで、嬉しかったことはありますか？

「うちの子、他では食べないけど、ここのパンは食べるんです」って買いに来てくれた方や、私のお菓子を食すると元気になるって言うてくださる方もいて、それが本当にうれしいんですよ。自分が楽しんでいないと、その気持ちは人にも伝わらないと思うんです。だからまずは自分自身が楽しみながら続けてます。

あとは、「どうしてこんなに売れるの？」って話題になったときに、「そりゃあ、作った人が見えるからよ」ってお客さんに言われて。ああ、なるほどな、信頼してくれてるんだなと思いましたね。見えるのなら、だらしな性格好もできないなって(笑)

—新しいことにチャレンジしたい人へ、アドバイスをもらえますか？

これまでも「厨房を見せてください」って人が何人かみえて、実際に始められた方もいるんです。だから、思い立ったらまずはやってみる。今はレンタルスペースもあるから試してみるのもいいと思うんですよ。確かに上手くいかなかったら不安を感じますけどね。自分のやれる範囲でやってから次の段階、次の段階って感じで、まずは始めてみるのが大事だと思いますね。



みんないきいき！さんかくフェスタ2026★を開催します！

さんかくフェスタ2026では、大人から子どもまで楽しみながらジェンダー平等について、学ぶことができます！キラビトで紹介した「スイーツ絵美子」さんもグルメコーナーに出展予定！皆さんのお越しをお待ちしています！

11/15(日)
10:00～14:00
豊田産業文化センター

※さんかく講演会の開催は
11/3(火・祝)です

- 各種セミナー
- ワークショップ
- ステージ
- スタンプラリー
- 展示
- グルメコーナー



詳細はこちら！
キラッ☆とよたHP

さんかく講演会



『対岸の家事』の著者と語る
対岸じゃないわたしたちの話

「対岸の家事」著者の朱野帰子さんが自身の経験をもとに、家事/育児と仕事の両立や支え合いの大切さについて語ります

講師：朱野 帰子（あけの かえるこ）さん

日時：11月3日（火・祝）
13:30～15:00（開場：13:00）

場所：豊田市博物館セミナールーム

申込：10月6日（火）10:00～

キラッ☆とよたHP



入場無料！